
資料 2-7 工事用車両等の走行に伴う大気質の影響の予測時期の設定

工事用車両等の走行に伴う大気質の影響の予測時期の選定にあたっては、各月で発生する工事用車両の走行による大気汚染物質（窒素酸化物、浮遊粒子状物質）の排出量を算出し、その12ヵ月間の移動平均が最も高くなった時期を検討ケースとした。

各月の工事用車両の発生台数、大気汚染物質の排出量の12ヵ月間の移動平均値を表 2-8.1 に示す。

大気汚染物質の排出量の移動平均が最も高くなった時期は、工事開始後11～22ヵ月目となり、当該期間を予測時期に設定した。

